

令和3年2月発行

全篤連だより

No. 35

発行所

(公財)全国篤志面接委員連盟

〒165-0026

東京都中野区新井3-37-2

電話 03-3389-9494

目次

年頭所感 会長 岩城光英 ……………	1	令和2年度全国篤志面接委員連盟会長表彰受賞者 ……………	4
令和2年度の理事会・評議員会等について ……………	2	東西南北 ……………	5
令和2年度の連盟の事業について ……………	2	事務局から ……………	7
令和2年度法務大臣表彰受賞者 ……………	3	雑記帳 ……………	8



年頭所感

皆様、新年おめでとうございます。健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスによる感染症がパンデミックといわれるほど世界的に広がり、昨年末の感染者の総数が8,300万人台に達している状況にあります。我が国でも感染者数が増加している状況にあり、

年明けた1月7日には東京都など1都3県に再び緊急事態宣言が発令されるなど、まだまだ予断を許さないものがあります。

感染拡大は、内外の経済社会に様々な深刻な影響を与えております。特に、昨年7月に開催が予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが本年7月に延期されたことを始めとして、多くの人が集まる行事、イベントやスポーツ大会・競技会等が中止となったり無観客での開催となったりしました。昨年4月に予定されていた第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都 kongress）も本年3月に開催が延期されました。

影響は矯正施設の運営にも及び、一時外部の人たちの立ち入りが禁止され、篤志面接委員を始めとして民間協力者の活動が中止されたと仄聞しています。このような事態は、篤志面接活動の歴史において初めてのことですが、被収容者への感染の防止、そして活動されている委員の皆様への感染防止を考慮すると、やむを得ないことと感じます。

今後は、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、社会経済活動が以前のように再開されることを願わずにはいられません。

ところで、矯正施設における篤志面接活動は、コロナ禍の中での制限はありますが、皆様方のご尽力により再び実施されるようになりました。連盟を代表して、その活動に深く敬意を表します。また、活動を支えていただいている矯正施設や矯正管区の職員の皆様のご理解とご協力、それぞれの矯正管区篤志面接委員協議会の皆様方のご支援に対して、深く感謝を申し上げます。当連盟と篤志面接活動が直面している現状にはいろいろな課題がありますが、何よりも現場施設の関係職員の皆様方と十分な意見交換を行い、連携を深めていくことによって、必ず解決できるものと確信しております。

会員の皆様方には、どうか令和の時代にも施設と社会との架け橋となっていただくべく引き続きご尽力をお願いするとともに、私ども連盟としても、可能な限り皆様の活動を支えるべく努力をしてまいりたいと考えております。

どうか、本年もよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人全国篤志面接委員連盟 会長 岩城光英

令和2年度の理事会・評議員会等について

1 理事会・評議員会

令和2年度における当連盟の常任理事会・理事会及び評議員会は、会長の年頭所感にもありますように、世界的に拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により皆様の健康と感染防止を図るため、すべての会議の開催を中止せざるを得なくなりました。(今年3月の理事会・評議員会も、同感染症の拡大が続いているため、現状ではその開催が困難な状況にあります。)

そこで、会議の開催に替えて、連盟定款の規定に基づいていわゆる持回りの方式によって必要な事項について審議していただき、理事・監事・評議員の皆様から同意・承認をいただく(みなし決議)ことといたしました。

令和2年度の連盟の事業について

1 研修訓練

令和2年度の当連盟の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により篤志面接委員の全国研修大会はもとより地方研修(研究)大会を含めすべての大会の開催が中止となりました。また、教養訓練もほとんどの管区において実施することができなくなりました。

2 活動事例集の作成

全国及び地方のすべての研修大会が開催中止となったため、今年度の事業として篤志面接委員の活動事例集を作成し、これを今後の研修資料として活用することを理事会において承認していただきました。

現在、執筆に協力していただいた委員の皆様から原稿を提出していただき、印刷に回すべく作業しているところであり、今年度中には作成したいと考えています。

3 表彰

全国大会においては、例年、法務大臣感謝状及び連盟会長表彰が授与され、受賞者の名前が大会記録誌に掲載されますが、今年度は大会がありませんので、本誌において次ページ以降に掲載することとしました。

令和2年度法務大臣表彰受賞者

(敬称略)

帯 広 刑 務 所	山 崎 一 裕
釧 路 刑 務 支 所	山 崎 瞳
青 森 刑 務 所	白 鳥 きよみ
宮 城 刑 務 所	朝 比 奈 キヨ子
山 形 刑 務 所	加 藤 ワカ子
福 島 刑 務 所	大 武 昌 子
栃 木 刑 務 所	横 山 幸 子
黒 羽 刑 務 所	沼 尾 良 一
千 葉 刑 務 所	程 田 健 太 郎
有 明 高 原 寮	富 岡 詔 子
新 潟 少 年 学 院	近 藤 龍 弘
福 井 刑 務 所	下 牧 加 代 子
湖 南 学 院	鶴 山 忠
湖 南 学 院	西 村 通 子
姫 路 少 年 刑 務 所	栗 村 典 男
京 都 拘 置 所	土 井 克 彦
浪 速 少 年 院	當 麻 円 純
和 泉 学 園	林 浩 美
広 島 少 年 院	竹 岡 訓 子
貴 船 原 少 女 苑	山 田 明 子
徳 島 刑 務 所	桑 内 瑠 美 子
高 知 刑 務 所	山 崎 典 子
佐 賀 少 年 刑 務 所	瀬 山 新 子
筑 紫 少 女 苑	脇 田 道 子
佐 世 保 学 園	永 尾 俊 子

令和2年度全国篤志面接委員連盟会長表彰受賞者

(敬称略)

北 海 少 年 院	村 上 洋 子
東 北 少 年 院	徳 力 賢 隆
東 北 少 年 院	清 水 峰 子
東日本少年矯正医療・ 教 育 セ ン タ ー	渡 部 榮 常
千 葉 刑 務 所	梶 村 慎 子
新 潟 少 年 学 院	木 曾 隆
新 潟 刑 務 所	五十嵐 紀 典
川 越 少 年 刑 務 所	五十子 仁 朗
名 古 屋 刑 務 所	石 川 宣
愛 知 少 年 院	山 口 八千代
京 都 刑 務 所	赤 田 泰 宏
姫 路 少 年 刑 務 所	宮 本 秋 義
大 阪 刑 務 所	藤 原 晃 賢
大 阪 拘 置 所	志 賀 俊 之
岡 山 刑 務 所	今 井 洋 子
広 島 刑 務 所	佐々木 著
山 口 刑 務 所	村 田 祥 山
徳 島 刑 務 所	郡 正 信
福 岡 拘 置 所	榊 孝 陽
宮 崎 刑 務 所	荒 武 敏 男

篤志面接と共に歩む

札幌刑務所・北海少年院篤志面接委員 藤 井 照 人

昭和61年、北海少年院の篤志面接委員として委嘱されました。知識もないままお受けしましたが、集合講話会担当の時は職業訓練校の教員時代の経験を活かし、そつなくこなす事が出来ましたが、その後、個別面接指導担当になった時には指導方法が解らず先輩先生にお尋ねしたりもしました。

少年の人生を左右することもある大事を考え、正しい面接指導の習得を目指して「学院カウンセリング科」に1年間学びました。履修後は、初回面接から終了指導までの8ヶ月カリキュラムを作成し、四柱推命学による運命鑑定を参考にして、より適切な指導方法を目指してまいりました。

少年たちと接していく中で、幼児期の教育として、「躰 情け 成し遂げ」が何よりも大切だということを、自分自身子育てを顧みながら改めて学び直したしだいです。

そののち、篤志面接活動の更なる高みを目指して「篤面を語る会」を発会、「札幌刑務所、北海少年院、月形刑務所、月形学園四施設」の篤志面接委員13名で、月1回のペースで研修及び親睦会を開催し、互いに学びを深めてまいりました。

各施設篤志面接委員会ごとに仕組みや指導方法が違う事等、非常に勉強になりましたし、他の先生の手法や教え導きに感銘を受けたり、参考になる事ばかりでした。

管内研修大会での発表は、施設の特徴や運営方針を理解した上でどのように指導して更生に繋げているかを考察しましたし、全国研修大会での発表は、施設の特徴、地域性、更生への導き等の考察を深めました。

同時に札幌刑務所教誨師を拝命し、請われて札幌刑務所篤志面接委員として兼任いたしました。加えて施設外でもアドバイス可ということで厚別区保護司も拝命いたしました。

施設を出た後の再犯リスクを鑑み、就業支援に繋がるよう、厚別地区雇用主会へも入会。

この様に自身の歩みを振り返り見ると、北海少年院篤志面接委員をスタートとして人生の大半を更生保護に費やしてきたと言えます。

改めて、真言宗僧侶として、宗祖弘法大師空海様の教えである、人々を苦しみから救い利益を施す教え「済生利人」を心に更生活動を長年に渡り携わることができた事に感謝せずにはいられません。まさに「我が人生に悔いはなし」と自分に言おう。

実感を大切にしたい

福岡刑務所篤志面接委員 宮 田 哲 郎

最近思うことは、やりがいや生きがい、喜びなどを実感しながら生活したいということです。

先日、プロ野球のドラフト会議で1位指名された選手が、「1位指名されて、どんな思いですか?」と聞かれて、「まだ実感がわきません」と答えていました。

私は若いころ、スポーツ選手が、大会後の優勝インタビューで、「まだ実感がわきません」と答えるのをよく耳しました。私は、「優勝したのだから、うれしくて実感がわくだろうに。なぜ、実感がわきませんと言うのだろう」とずっと疑問に思っていました。

その後、この疑問が解決する出来事がありました。手前みその話になりますが、私は、若いころ、少年サッカーチームの監督をしていました。ある時期、チームが強くなり、県大会で優勝することができました。優勝した時点ではうれしい気持ちもあったのですが、いまいち実感がわきませんでした。その後、様々な人や団体から数多くのお褒めの言葉をいただいたり、祝勝会を開いてもらったりしました。その過程で、私は、「うちのチームは、本当にすごいことをやったんだ」、「みんなに喜んでもらってよかったなあ」、「これからも頑張るぞ」と心からうれしくなり、優勝の喜びを実感しました。優勝が決まった時点でなく、しばらく経ってからどんどん実感がわいてきたのです。

いろいろな人と触れ合いながら仕事や活動をしている時、それらが、「人の役に立っているんだ」とか、「喜んでもらったり、楽しんでもらったりしているんだ」とか、実感することができるのは、とてもうれしいことです。

篤志面接委員になって4年目となりますが、活動の内容や活動方法など、いつも手さぐりの状態です。委員としての活動が、「皆様のお役に立っているんだ」と、その時点でも、後からでも実感できるように、活動の内容や方法を工夫しながら取り組んでいきたいと思えます。

事務局から

○令和2年度秋の叙勲、褒章について

篤志面接活動の功績が認められ、次の篤志面接委員の方々が瑞宝双光章、藍綬褒章を受けられました。(敬称略)

(瑞宝双光章) 藤井 亮俊 (神戸刑務所)

前田 直子 (松山学園)

(藍綬褒章) 片井 康輔 (旭川刑務所)

渡部 榮常 (東日本少年矯正医療・教育センター)

木曾 隆 (新潟少年学院)

土阪 玄流 (京都刑務所)

袴田 徳司 (京都刑務所)

藤原 晃賢 (大阪刑務所)

鈴木 三男 (鹿児島刑務所)

○物故者

令和2年8月以降にお亡くなりになった篤志面接委員の方は、次のとおりです。

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

2年 8月 中島 典子 (茨城農芸学院)

10月 村田 祥山 (山口刑務所)



雑記帳

会員の皆様、明けましておめでとうございます。本年も「全篤連だより」をよろしくご愛読下さい。

さて、昨年は何と言っても世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルスによる感染症に当連盟も翻弄されました。連盟組織の運営に必要な理事会や評議員会を開催することができなかつたため、やむを得ずいわゆる持ち回り方式で役員や評議員の皆様からの同意と承認を得て決議に代えさせていただきます。また、感染防止のため全国大会と地方大会のすべての研修会を中止とせざるを得ない状態となりました。

そんな重苦しい状態の中で、「鬼滅の刃 無限列車編」というアニメ映画が大きな話題となりました。主人公の竈炭治郎が鬼と戦うときに身体能力を爆発的に高める「全集中の呼吸」という言葉が菅総理大臣の国会答弁に使われるなど、その人気はとても高いものでした。そこで、私もどうしてこんなに人気があるのかなと思い、「今時映画館になんか行かないで！ 感染しに行くようなものでしょ！」という妻の反対を押し切り、こっそり内緒でこの映画を見に行きました。

見た直後の感想は、正直「家族を殺され、妹を鬼にされた復讐の鬼退治の物語だけど、この映画だけでは、人気の理由は分からないな」というものでした。そこで、事務所でこの映画を話題にすると、なんとそこには「鬼滅の刃」単行本全巻を所持しているA女史とDVD版を所持しているS氏がいらっしゃるじゃありませんか！ お二人から話を聞いたり、DVD版をお借りして見て、人気の秘密が何となく理解できるような気になりました。

このアニメは、鬼退治の物語ですが、それだ

けでなくいろいろなストーリーが込められているのです。単純な復讐劇ではありません。家族愛、兄弟愛もしっかり描かれています。また、復讐される鬼といっても、かつては普通の人間だったのですが鬼の絶対的支配者によってその血を注入され鬼にされたのです。鬼として生きるために、人間の血を吸わなければならなくなつたのです。そして鬼殺隊に殺される時、鬼は死ぬ直前に人間だった頃の思い出がよみがえり、幸せだったころの記憶に涙しながら消えていく。鬼の悲哀も感じられるところに、物語の深さを感じるのです。また、このアニメには個性的なキャラクターの登場人物がたくさん描かれていたり、適度にシリアスな表現とギャグを入れた表現が混じっていたりすることが大人にも子どもにも人気がある理由となっているのではないかと思います。

ここまで書いて、ふと、「あれ！？ 鬼ってなんか新型コロナウイルスに似ていないか？」と思ったのは私だけでしょうか。ウイルスも人間や動物に寄生しなければ生きていけません。寄生し、そこで栄養を得ることによって生きますが、寄生することによってその人間を死に至らせることもあります。アニメに出てくる鬼も生きるためには、人間の血を吸わなければならぬのです。悲しいけれど、鬼もウイルスもそういう生き方しかできないのです。

そういう悲哀を持ったウイルスですが、人間の生命と健康を脅かす限り、一日も早く消えてもらわないといけません。各国で開発されたワクチンがウイルスという鬼を朽ち果たす日の来ることを心から願うばかりです。アニメを見ながら、そんなことを考えていました。

今年が皆様にとって、幸多い年となりますよう祈念しております。